

学校訪問シリーズ 83

大分市立森岡小学校から学ぶ

学校経営から学ぶ

学校の教育目標「心をつむぎ」とともに『生きる力』を発揮できる子どもの育成」を達成するため、今年度の行動目標を「『えがお』のあいさつ・へんじ・あとしまつ」と定め、あいさつ=つよい子→体力向上、へんじ=かしこい子→確かな学力、あとしまつ=やさしい子→豊かな心と、目指す子ども像や重点目標をリンクさせています。このことで、行動目標を単なるスローガンで終わることなく、組織的、計画的に実践されています。

また、そのような目標を達成するために、組織や校務分掌を全て見直し再編成したようです。それぞれの担当者と責任者を明確にすることで、各主任を中心として提案型の組織となりつつあります。

今後は、心をつむぐためにも、協議の際に出された「言語能力」のような学校をあげて育成を目指す資質・能力を明確にすることで、それぞれの組織が協働的に取り組まれることが期待されると思いました。

授業から学ぶ

全学級の授業から、先生と子ども達や子ども同士の関係がよく、熱心に学びに向かう姿を見ることができました。

特に1年2組の国語での短時間の学びいや、6年社会の子どもの意見をつなぎながら課題解決に向かう流れは、多くの授業や、学級経営の在り方においても大変参考になると感じました。



NO.475 2022年11月 大分市立森岡小学校

心をつむぐ

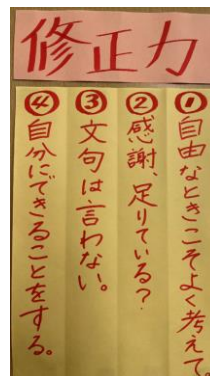
それぞれの思いを認め合い、それらをつないでいくと、よりよい考えを創ることができる。



NO.479 2022年11月 大分市立森岡小学校

生きる力

自分の考えをもち、それぞれの考えを認め合い、課題解決のために協力し合うから、うまくいく。



NO.477 2022年11月 大分市立森岡小学校

つよい子

友達や先生に聞く前に、まずは自分一人で考え、調べてみる。頼らない。ごまかさない。



NO.476 2022年11月 大分市立森岡小学校

かしこい子

考えたことを出し合うと、友達との違いに気づき新たな課題が見つかる。だから、学びたくなる。



NO.478 2022年11月 大分市立森岡小学校

やさしい子

発表者の方を向くのは、ルールだからではなく、相手へのやさしさから。